



中尾 篤人

教授 免疫学講座(アレルギー)

我々の研究室では、アレルギー疾患(喘息、花粉症、食物アレルギーなど)の病態を様々な視点からより深いレベルで考察し、アレルギー疾患の新しい予防や治療法を開発するためのカギとなる基礎的知見を発見することを主たる目標としています。

特にアレルギーと体内時計との関係についてここ数年間は主に研究しています。

これまでの成果として、マスト細胞が体内時計の制御を強く受けていて、その結果、アレルギー疾患の病態に顕著な時間依存性が生まれることを報告しました(J Allergy Clin Immunol 2011、2014、2016、2018, Allergy 2015、2017, Allergol Int 2023)。

最近では、バイオインファマティクスの手法も取り入れて重症喘息患者の気道上皮細胞では体内時計リズムの乱れがあり、組織修復過程に影響を及ぼしていること(Clin Trans Allergy 2024)なども明らかにしています。

KEYWORDS

- アレルギー
- 喘息
- 花粉症
- マスト細胞
- 体内時計

SEEDS

- マスト細胞の分化誘導や解析
 - ・ マウス
 - ・ ヒト

NEEDS

- シングル細胞RNA-sequencing解析